

PTA活動について

誰でも楽しめる活動にするには

工夫	数
1 活動日を土日にする	125
2 委員会に入らなくても気軽に参加できる活動を設定する	204
3 委員会を縮小する	8
4 委員会を減らす	20
5 先生ととっとと 一緒に活動する	82
6 生徒ととっとと 一緒に活動する	108
7 地域ととっとと 一緒に活動する	35
8 その他	16

その他	数
・PTA活動を大変だと思っている人が多い、PRが必要	6
・ボランティア登録制	3
・短い時間でも、まぎらまぎりに来てもらうことが大事	3

- ・委員会内の活動内容を楽しくする様に工夫する
- ・活動を早く終わらせる ・生徒の平日の活動とタッグ
- ・学校行事に合わせてPTA活動を単発で行う
- ・義務ではなく自己参加し作成する意思を持ってもらう
- ・役割を各々に与える ・希望制でOGOBの参加
- ・活動日を平日にもつくる
- ・委員の負担を減らすため、高P連イベントへの一般委員の動員

委員会活動をよりよくするには

工夫	数
・活動日を少なくする努力 / 途中よく行動	31
・交流を深める(会食、打ち上げ、研修、地域、LINE)	29
・個々の負担を減らすため、作業を平準化(マニュアル)	22
・生徒が参加できることを増やしていく(イベント、広報紙)	11
・情報の共有 (LINE、DropBox)	9
・早めのスケジュール (他の活動との調整)	9
・お祝いサポートしながら活動 (得意な分野を分担、1人1役)	8
・学校や先生の協力を依頼する (PC、会計、連絡)	6
・任期にとらわれず気軽に参加できる雰囲気作り	4
・毎年恒例のイベントへの柔軟な対応	2

- ・一人 (同じ中学の出身者がいない) でも参加しやすい雰囲気作り
- ・委員の増員・学校のHPで活動内容を発信 ・任期を短くする
- ・学年縦割りのグループをつくる ・PC、カメラのスキルアップ
- ・意見を押しやすい環境づくり (縦横のつながりを密に)
- ・委員会に入らないボランティアの募集 ・交通費支給
- ・委員会に出席する目的、意義を高める(早めの担当ページ決め)
- ・役員の継続でスムーズな引き継ぎ

大石会長

会員の皆様のご意見を反映し活動をしてまいります。ご協力ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

中野副会長

高P連役員としての役割は、たくさんありますが熟意あるメンバーたちとの活動で日々学習中です。

位田副会長

#PTA活動の活性化#アンケート#情報を伝える#HP活性化#情報を活かす#面白い事業

山下副会長

高校生を取り巻く課題は様々で大人の都合に合わせてくれません。高P連に対する理解と協力をお願い致します。

役員



PTA に思うこと

横浜北地区 林理事

気が付けば折り返し点はとうに過ぎていました。横浜北地区の代表として最後までしっかりがんばります。

横浜中区 宮崎理事

輪番での横浜中区の理事として高P連の一員になりました。すべてが手探りの状態ですが、頑張っています。

横浜南地区 内田理事

周りの方々にたくさん教えていただき支えてもらいながら今日まで過ごしてきました。残り数か月ですが楽しんで頑張りたいと思います。

川崎地区 伊東理事

「やるからには楽しくやる」をモットーに多くの人と接点を持つことを楽しみながら活動していきます。

横三地区 石合理事

横三は会長同士も仲良く、とてもまとまりのある地区です。高P連と地区のつなぎとして微力ですが頑張ります。

湘鎌地区 長理事

「過去と他人は変えられない。でも、

未来と自分は変えられる。」PTAの可能性を探ってみたいと思います。

平泰地区 堀理事

理事を務めさせていただくと、「今の時代に求められるPTA像とはなんだろう?」と改めて考えるようになりました。

泉西地区 木下理事

スローガン通り多くのことを学び、たくさんの方々と出会い、いろいろ吸収することができました。残りの任期、職務を全うします。

泉東地区 大串理事

こんなにも多くの方が子ども達の今と未来の幸せのために、情熱を持って育んでいる姿を学び感謝しています。

相模原地区 廣間理事

毎月の理事会や分科会への参加で、知り合いも増え、いろいろと勉強させていただいています。ありがとうございます。

専門部会 坂口理事

何もかも初めてでわからないことばかりですが、他の理事の皆さんと一緒に頑張ります。

馬場副会長

高P連役員と単P会長の兼任はハードでしたが、充実した一年を送ることができました。

静井会計

昨今の子ども達を取り巻く問題は多岐に渡る、地域にもよる。神奈川県は先駆をいく新しい取り組みは子ども達のため。

吉井会計

多岐に渡る高P連活動を支える会計。本来は苦手分野ですが、遠く角度から見える、活動の奥深さを実感中です。

海藤総務

毎回、会議録音を聞き直して次の会議レジュメを作成します。横文字のビジネス用語を調べてもすぐに忘れてしまいます。(笑)

安藤総務

人との出会いを大切に私にとつ

て、高P連で多くの人に出会えたことを感謝します。

葛山総務

先日、あるサッカー指導者の方の言葉が、私の心に大きくのしかかっています。「できない理由を探すな」

佐藤総務

分科会員の現役PTA会長の皆様から、たくさんパワーをいただきました。これが高P連の原動力なんです!

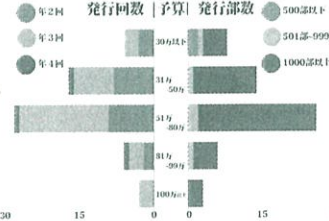
神河監事

「現役の役員を」との思いから、監事を引き受けました。欠席の会議も多いのですが残りの任期頑張ります。

渡邊監事

監事として理事会運営のチェックと助言、予算の適切な執行に目を光らせ、会員の皆様の期待に応える活動に邁進致します。

2 広報紙予算と発行回数・部数



4 イベントの紹介

- ・PTAフォーラム (卒業生から上智校決定から受験までのプロセスを話してもらう) ・前夜泊付研修会・介護実習
- ・自転車シェアレーター・教員教員協議会・朝顔リサイタル
- ・大生見学バスツアー (卒業生、学生によるガイド)
- ・付録チラシとランチ・地域での情報活動・学年懇談会
- ・体育祭、スポーツ大会での給水・スケートストリート
- ・ボーリング大会・ケアホーム訪問・百寿式センター見学
- ・ヤングライダースクール・卒業式のコーサージュ作り・贈答
- ・卒業サロン (卒業式に参加した保護者にお菓子を提供)
- ・ハードマップ・シートベルトコンプレッサーの体験
- ・学校食堂の試食会・自転車点検・そば打ち・ペン字作り
- ・生徒と共同の文化祭での模擬店・アロウ講習会

アンケートデータは『2017委員会向けアンケートより』詳細は高P連H.P.で (<http://www.kanagawa-koupren.org/>) 県高P連の活動/複製: 複製: 委員会活動/委員会活動/アンケート結果/)

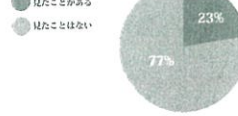


高P連について

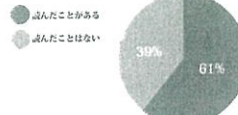
認知度

1 高P連のホームページ

<http://www.kanagawa-koupren.org>



2 高P連の会報紙 毎年3月初旬発行



取り上げて欲しいことは

工夫	数
1 災害時の子どもの安全確保とその対策	150
2 子どもの食生活と健康	62
3 不登校・引きこもり	65
4 いじめ	73
5 高校生とスマホ・ネット	93
6 勉強ドラッグの活用	93
7 事件・事故・高校生が加害者になるということ	145
8 選挙権の18歳への引き下げ(主権者教育について)	64
9 5K産業・高校生の居場所	41
10 ブラックハイト	68
11 子どもの困窮	53
12 子どもの人権	43
13 性的マイノリティー	49
14 その他	14

- ・大学推薦についての情報・受験や進学の費用、情報収集方法
- ・子ども起ちす(起こした)犯罪への関わり方、対応
- ・高校生の心理(不安、悩み) ・卒業後の進路のこと
- ・人権力、マーケティング、食に関すること ・スポーツ
- ・地域への取り組み ・インクルーシブ教育について

定期総会

時代にそった実効ある 高P連活動のスタート

6月11日、平成29年度神奈川県立高等学校PTA連合会総会がパシフィコ横浜で開催された。会長はじめ、教育長・県立学校長会議幹事長・安全振興会理事長のあいさつの後、退任した単位PTA会長への感謝状贈呈式が行われた。平成28年度で退任した会長は155校中95名、およそ60%の会長が入れ替わることになる。また95名のうち、59名の会長は、単年（1年）で退任であったことを考えると、学校のみならず、高P連の行事・大会等の丁寧な引継が必要であると考えられる。

その後、議事に移行し、事業報告・決算、事業案予算案が承認され、第2号議案の「個人情報の保護」章の新設が提案された。これは、平成29年5月30日に施行された「改正個人情報保護法」に伴い対応したものである。

「個人情報」の取り扱いは、重要かつ必要不可欠である。「神奈川県立高等学校PTA連合会に係る個人情報保護に関する細則」1条～13条が満場一致で承認された。

また、県立学校長会議から選出された高P連担当校長を「相談役」にあてる「神奈川県立高等学校PTA連合会担当校長に係る規約等改正について」提案、承認された。

活発な意見・質問も出されすべての議案が終了した。

平成29年度 定期総会 成立要件と主な承認事項

【出席者】		【決議事項】	
単位PTA会長	125名	*平成28年度事業報告・決算報告・監査事項	
各校校長	119名	*規約改正・細則変更報告	
役員・理事	22名	「個人情報保護」の追加・「相談役」の設定	
委任状	32通	*平成29年度 役員選任	
合計	298名	*平成29年度 活動方針・スローガン・ミッション	
総会員数	311名	*平成29年度 事業計画(案)・予算(案)	

	項目	収入	支出	差額(繰越金)
平成28年度 決算	一般会計	26,221,115	25,228,382	992,733
	研修事業会計	8,409,000	8,409,000	0
平成29年度 予算	一般会計	28,348,341	28,348,341	0
	研修事業会計	4,595,055	4,595,055	0



予定者説明会

5月27日（土）交通安全担当校、理事校のPTA会長、校長、書記担当の教諭等に対して予定者研修が実施された。各地区内での輪番によって理事校、交通担当校となるのだが、その周期が十数年となってしまう地

区もあるため、いざ当番校になった時には戸惑うことが多い。説明会では、高P連の組織の説明や提出書類の書式などを分かり易くガイドブックを使用している。午前中に交通担当説明会があり、担当校の役割や事務手続きなどが、専用のガイドブックを使い説明があった。午後からは

理事校説明会を実施し同じくガイドブックを用いて同様の説明がされた。昨年は、両説明会を同時に開催していたが、待機している時間が長い、大人数になるなどの反省から午前、午後に分けて実施した。今後も皆さんの意見を聞きながら分かり易い予定者説明会を開催していきたい。

健全育成事業

【分科会紹介】

今年度、健全育成事業の課題として、平成27・28年度に行った会員へのアンケート調査結果を基に、会員が関心を持っている12項目を取り上げた。

- ・自己肯定感の醸成
- ・交通安全活動
- ・ネット社会における健全な利用方法の周知
- ・いじめ問題に対する取り組み
- ・青少年の貧困問題
- ・奨学金の現況
- ・薬物対策
- ・防災対策・教育
- ・男女交際における問題
- ・マイノリティーに関する問題
- ・インクルーシブ教育
- ・健康的な生活習慣（食育）

これらの課題について必要に応じて調査・研究や事業を実施するため、テーマ毎に分類した「防災対策・教育」「自己肯定感の醸成」「保健安全教育」「人権教育」「ネット社会にお

ける情報セキュリティ」の5つの分科会を発足させた。リーダーを理事、サブリーダーを役員が担当し、分科会員として単位PTA会長に参加していただき、それぞれが協働して分科会を運営する。分科会は、各々の課題に沿った情報を集め、学習や検討を行い、得られた情報・結果を会員の皆様に提供することを目標に、現在活動を進めている。

県大会では、講演会・意見交換会・ワークショップという形式で、参加者に各分科会の課題に関する情報を提供し、分科会事業の経過報告とした。（別表参照）

また、今年度の分科会事業の最終的な目標を次のように掲げている。

第1分科会「防災対策・教育」は、災害時に役立つ各戸別注意事項一覧表を作成するため、事前準備として各校にアンケート調査を実施する。

第2分科会「自己肯定感の醸成」は、自己肯定感の醸成という概念について定義し、その効用を明確にするとともに、自己肯定感醸成プログラムについて研究する。

第3分科会「保健安全教育」は、食の安全を追求する観点からゴマ油工場の見学と講演会を企画実施する。

第4分科会「人権教育」は、課題についての理解を深めるため、インクルーシブ教育の現状について等の講演会を企画実施する。

第5分科会「ネット社会における情報セキュリティ」は、ネット社会に潜む危険を周知するため、単位PTAで展開できる情報の整理と保護者向け配布物の作成について検討する。

会員が興味を持っている事項について、現役PTA会長の皆様とともに意見を出し合い、調査・検討することで、実際に保護者が必要としている情報や取り組むべき課題を浮き彫りにすることができた。

新しく着手した事業のため、説明不足や要項の周知が徹底されなかった等の指摘をいただいているが、今年度の反省点を来年度の活動に活かし、会員の皆様と一緒に青少年の健全育成を支える事業にしたいと考える。

県大会分科会形式・テーマ

分科会・形式	テーマ	講師
第1分科会 「防災対策・教育」 講演会	防災・減災教育は命の教育 ～学校で学ぶこと、家庭でできること～	石田真実氏 NPO法人かながわ311ネットワーク専務理事
第2分科会 「自己肯定感の醸成」 ワークショップ	ギフトトレーニングの体験 ～あなたの中のギフトを見つけて認めるワークショップ～	佐藤幹夫氏 エコ株式会社代表取締役
第3分科会 「保健安全教育」 講演会	生きる力=食べる力 ～食育を学び充実した人生を送ろう～	黒田光弘氏 合同会社EN代表(管理栄養士)
第4分科会 「人権教育」 情報提供と意見交換	高校生の人権に対してPTAは何ができるか ～分科会に参加して、調査して初めて知った現実と、今PTAにできること～	第4分科会員
第5分科会 「ネット社会における 情報セキュリティ」 講演会	インターネット・SNSの安全利用について ～ネット上のトラブルについて保護者として 知っておくべきこと～	落合令子氏 県警本部少年相談・ 保護センター警部補

今年も感動 笑い涙のPTA連合大会

今大会は、平成29年12月2日（土）パシフィコ横浜 会議センターにて広報紙コンクール表彰式を集約させる形で開催された。「学び・伝え・活かす」をテーマに約950名が参加し盛大なPTA大会となった。

開会式、高P関連の表彰に続き、安全振興会の作文コンクールの最優秀賞に輝いた瀬谷高等学校、瀬谷西高等学校の生徒による朗読が行われた。その後、今年も感動の広報紙コンクール・表紙コンクール表彰式となった。広報紙の審査はPTAとして必要な情報を伝えると同時に、企画、デザイン性、インパクトなどが総合的な観点で行われる。今大会から高P連ホームページに挙げて会員の投票により決定する表紙コンクールの表彰式も行った。広報紙コン



第55回神奈川県立高等学校PTA連合会大会

クールの受賞校には受賞の事実のみ伝え、表彰式で各賞を発表する形式をとっている、最優秀賞受賞の秦野高等学校は感動の涙を流し、受賞の喜びを熱く語ってくれた。

午後の講演は、文部科学大臣補佐官、東京大学公共政策大学院教授、慶應義塾大学政策メディア研究科兼総合政策学部教授の鈴木寛氏を講師に招いて行われた。内容は、今後の「激動の時代」を生き抜ける人材育成に向けて、Active learningの重要性が強調されていた。

PTAの発表は、各地区大会発表校の代表2校によるすばらしい発表があった。

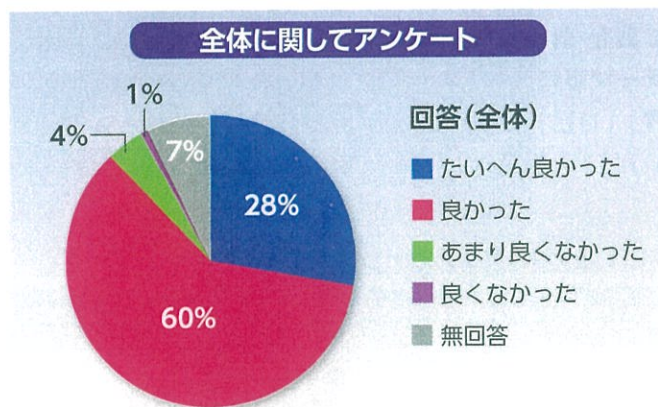
津久井浜高等学校PTAから生徒たちに役立つPTA活動、PTA組織の充実についての発表がされた。続いて保土ヶ谷高等学校PTAからは地域の組織と連携したPTA活動の発表がされた。

今大会は健全育成事業の一環で、県大会分科会が開催された。さまざま

な課題をテーマ毎に分類し発足させた5つの分科会より、それぞれ学習・検討した内容について情報提供された。初めての試みではあったが800名の参加者があり、関心の高さがうかがわれた。

大会終了後はインターコンチネンタルホテル「オーシャンテラス」へ移動して、情報交換会が行われた。地区を越えて互いの単位PTA活動について熱く語り合い、親睦を図り、大変有意義な時間を過ごした。

各大会を集約した今大会も2年目を迎え、大きなトラブルもなく開催された。アンケート結果からの参加者の意見を取り入れて、今後もいい大会だったと言われる大会にしたいと考える。



講演

『変わる高校教育、その中でPTAに期待すること』

～家庭教育・地域連携教育の向上を目指して～

講演は、これからの高校教育を見据え、文部科学大臣補佐官の鈴木寛氏に依頼した。冒頭で、300年ぶりの「激動の時代」を生き抜ける人材育成の必要性が示された。20世紀の教育は知識・技能を中心にマニュアル化され、大量生産といった工業社会に資する人材の育成に成功した。しかし、今後、定型業務反復作業の多くはデジタル・テクノロジーによって自動化が進む一方で、芸術や歴史学等の抽象的概念を創出するための知識が要求される。人工

知能等での代替が難しいことを理由に、消えていく可能性が高い職業と低い職業を提示され、大きな反響を呼んだ。そして、21世紀の人材と教育に向け、Active learning（主体的・対話的な深い学び）の重要性を強調した。会員からは、「生きる力を親子で学んでいきたい」「子どもが芸



術方面への進学を希望している。背中を押してみようと思えた」などの感想が寄せられた。

津久井浜高等学校PTA

「40周年、そして未来へ」

地区発表の1校目は横三地区の津久井浜高校PTAによる「40周年、そして未来へ」をテーマに、40周年という節目である1年を次の10年へ繋げる大切な1年と位置付け、「生徒たちに役立つ活動」「組織の充実」といった切り口で自校のPTAの活動の成果、課題を素直に振り返り、生徒のニーズを取り入れ、保護者のネットワークを駆使しているという指針が分かりやすくまとめられたものだった。飯岡会長の飾らない語り口のプレゼンテーションは、聞き手の好感を博していた。



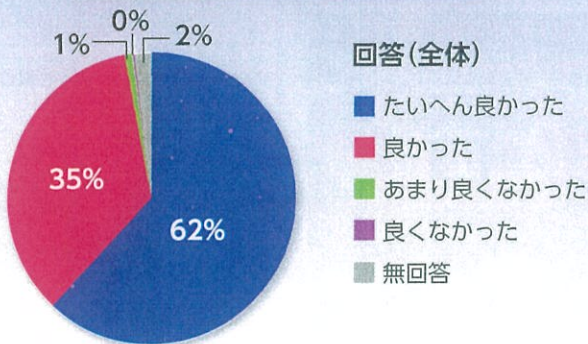
保土ヶ谷高等学校PTA

「より明るく★より楽しく♪保土高盛り上げ隊！」

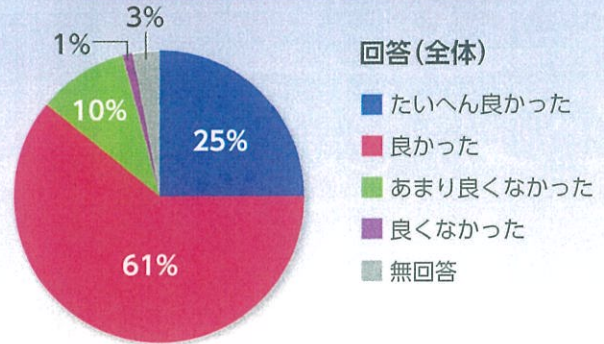
2校目は「より明るく★より楽しく♪保土高盛り上げ隊！」と題して、横浜中地区の保土ヶ谷高校PTAの大澤会長はじめ皆様による活動報告だった。特筆すべきは近隣地域との交流について。災害時の地域での助け合いは勿論、文化祭等の学校行事に際しても町内会の皆さんが積極的に参加する連帯感を維持拡大しているオープンなPTA活動である。保土ヶ谷高校PTAの皆さんと、当日会場まで応援に来て頂いた多数の「市沢地区連合町内会」の皆さんの「熱い」関係には脱帽だった。



津久井浜高校アンケート



保土ヶ谷高校アンケート



広報紙コンクール・広報紙表紙コンクール受賞校



- 最優秀賞
秦野高等学校 PTA「ひろはた」
- 優秀賞
神奈川新聞社賞
西湘高等学校「西湘」
県教育委員会教育長賞
松陽高等学校「松陽」
神奈川県立高等学校PTA連合会会長賞
神奈川県立総合高等学校「ざっくばらん」
県立高等学校安全振興会賞
座間高等学校「ZAMAKO」
- 奨励賞
七里ガ浜高等学校「七里ガ浜」
横須賀高等学校「横高PTA JOURNAL」
横浜国際高等学校「Y I S E Y E」
磯子工業高等学校「磯工」
元石川高等学校「広報もといしかわ」
神奈川県立高等学校安全振興会写真賞
藤沢総合高等学校「未来—あした—」
- 写真賞
新城高等学校「会報新城」
- 企画賞
新羽高等学校「NIPPON」
- 編集賞
麻生総合高等学校「ZENJIMARU」
- 広報紙表紙コンクール優秀賞
希望ヶ丘高等学校「希望ヶ丘」

第63回 関東地区高等学校 PTA連合会大会神奈川大会

大会実行副委員長 亀井泰人

平成29年7月6日～8日にかけてパシフィコ横浜において神奈川県立高等学校PTA連合会主管の下、開催されました第63回関東地区高等学校PTA連合会大会神奈川大会についてご報告いたします。

まず、はじめにご参加いただいた約4500名（そのうち半分は神奈川の会員）の皆様、ありがとうございました。来賓の黒岩知事の御挨拶の中で「国立大ホールによく来るが、上まで席が埋まっているのは初めて見た」との言葉をいただくくらい盛況感、フリーアナウンサー羽鳥慎一さんのユーモアの中にも共感を得られる講演、神奈川の独特色を出しての各分科会等多くの方々に満足いた

だけた大会が開催されたと思います。

また、全体会運営を横浜・川崎地区の単位PTAのOB・OGの皆様、分科会運営をその他の地区の単位PTAのOB・OG・現役の皆様、総勢約250名に快くご協力いただき、県外からの参加者を“おもてなし”できたことをこの場を借りて御礼申し上げます。

そして、アトラクションで大会を盛り上げていただいた湘南台高校吹奏楽部のマーチングバンド、金沢総合高校ダンス部のチアダンス、横浜南陵高校社会福祉部の司会及び手話通訳も、学校行事がある中参加いただき重ねて御礼申し上げます。

今大会の特徴としては以下の点が

あげられます。

- 他県の県連役員が単年度で入れ替わる中、当県連は開催までの数年のみちのりを同じ役員が関わったこと、7年前に開催した時の資料を基に実際に携われた方にお手伝いいただき当時の生の声を聞きながら段取りが組めたことが、作業の効率化に大きく貢献しました。

- 大会の趣旨に賛同いただいた企業の皆様方から多くの協賛をいただいたことが金銭的に運営を助け、独自の分科会設定やスタッフポロシャツの提供等、大会そのものに厚みをもたすことができました。

次回の開催にむけては、子どもたちを取り巻く社会環境も日々変化する中、PTAの存在目的と大会の目的や内容がより合致され、会員の皆様にとって、より有益な大会にすることが望まれるでしょう。



いざ出陣



全体会のようす



神奈川県知事 黒岩祐治氏の祝辞



羽鳥慎一さんと司会石川みゆきさんのトークショー



湘南台高校吹奏楽部



金沢総合高校ダンス部



横浜南陵高校社会福祉部

教育委員会の掲示板

「かながわ教育月間」

県では、かながわ教育ビジョンの理念の実現に向け、協働・連携によるかながわの人づくりを推進するため、「かながわ教育月間」を設定しています。平成30年度は、10月6日から11月4日までの30日間です。期間中には、県民の皆さんとかながわの教育について考える「かながわ人づくりコラボ」をはじめ、県内各地で様々な教育に関するイベントが開催されます。ぜひお出かけください。

かながわ教育月間

県立高校改革

県教育委員会では、平成28年4月からすべての県立高校で改革に取り組んでいます。

平成29年10月には、学力向上進学重点校に横浜翠嵐高校と湘南高校を先行指定し、あわせて通級指導導入校に生田東高校、保土ヶ谷高校及び綾瀬西高校を指定しました。

平成30年4月には、三浦臨海高校と平塚農業高校初声分校を再編・統合し、校名を三浦初声高校に変更します。

引き続き改革を推進してまいります。

ますので、PTAの皆様の一層のご理解とご協力をお願いします。

県立高校改革

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f531868/>

寄附のお願い 「まなびや基金」「奨学金基金」

①まなびや基金は、より一層快適な学びの場を提供するため、県立学校の物品購入・改修工事など、教育環境の整備に活用しています。

②奨学金基金は、学資を必要とする高校生等への奨学金の貸付けに活用しています。

皆さんのご協力をお願いします。※詳しくは「神奈川県まなびや基金」、「神奈川県奨学金基金」各ホームページをご覧ください。

【問い合わせ】

県教育委員会財務課
電話①(045)210-8105

②(045)210-8251

インクルーシブ教育 実践推進校

県では、県立高校改革の一環として、茅ヶ崎高校、厚木西高校、足柄高校をインクルーシブ教育実践推進校に指定し、平成29年4月から知的障がいのある生徒を受け入れて、すべての生徒が、相互理解を深めながら成長し、共生社会の担い手となれるように取り組んでいます。また、県内すべての地域から通学できるよう、来年秋に策定する県立高校改革実施計画（Ⅱ期）において、指定校の拡大を検討しています。皆様の一層のご理解とご支援をお願いします。

ますので、PTAの皆様の一層のご理解とご協力をお願いします。

スマートフォン等の 適切な使用について

高校生のスマートフォン等でのインターネット利用が広がる中で、犯罪に巻き込まれたり、不適切な書き込みが人間関係のトラブルに発展するなど、さまざまな問題が増加しています。問題の未然防止のために、フィルタリング設定や利用時間など、スマートフォン等の使用に関するルールについて、ご家庭での話し合いをお願いします。

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f300473/>

神奈川県立三浦ふれあいの村の 民間貸付について

三浦ふれあいの村は、本年3月末をもって県立の施設としては廃止され、平成30年度から、(公財)横浜YMCAに敷地と施設を貸付け、新たに「三浦YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジ」として運営されます。これに伴い、利用料金等が変更となりますので、詳細は三浦ふれあいの村ホームページでご確認ください。

<http://www.yokohamamca.org/fureai/>

「24時間子どもSOSダイヤル、 不登校ほっとライン」のご案内

県立総合教育センターでは、いじめや不登校等に関する様々な悩みやお問合せに応じています。

「24時間子どもSOSダイヤル」

電話0120-0-78310

(0466)81-8111

24時間365日受付

「不登校ほっとライン（電話相談）」

電話(0466)81-0185

月曜日～金曜日 8:30～21:00

土・日・祝休日 8:30～17:15

(12月29日～1月3日を除く)

生涯学習情報を提供しています！

県立図書館の生涯学習情報コーナーでは、豊かな人生を実現する「生涯学習」を進めるための様々な資料を取り揃えています。学習相談員に相談もできますので、ぜひご利用ください。また、「PLANETかながわ」でも、生涯学習に関する情報を検索できます。併せてご利用ください。

【問い合わせ】

県立図書館生涯学習サポート課
電話(045)263-5916

PLANETかながわ

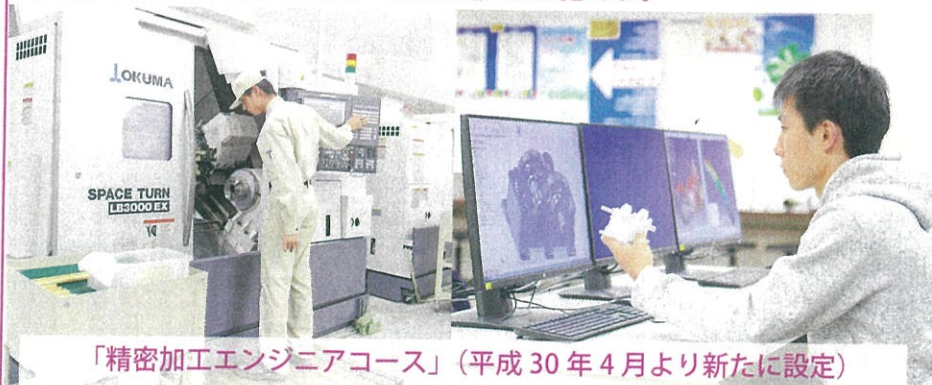
神奈川県立（東部・西部）総合職業技術校からのお知らせ

「手に、職。」が未来を変える

就職率
95.1%

かな
テク

かなテクカレッジで「プロの技術」を学び、ものづくり現場（航空・自動車産業等）で働くプロフェッショナル（正社員）を目指そう。



「精密加工エンジニアコース」（平成30年4月より新たに設定）

地域から、コースから、自分にあった「かなテク」を選べます。

神奈川県内2校の東部総合職業技術校・西部総合職業技術校では、3分野（工業技術・建築技術・社会サービス）・全24コースで、ものづくりを中心としたコース設定があり、年4回（4月生、7月生、10月生、1月生）の募集をしています。

3分野・全24コース

工業技術 溶接・板金、機械CADなど

建築技術 室内施工、木材加工など

社会サービス ケアワーカー、給食調理など

4月生の募集（平成31年）

時期	申込期間
4月生前期	H30.10.9 ~ 11.5
4月生後期	H31.1.7 ~ 2.4

スタッフによる職業相談や職業紹介がきめ細かく就職をサポート、修了後も1年間サポートが受けられます。

体験入校 予約必要 無料
希望コースの体験ができます。

オープンキャンパス 予約不要 無料
全コースの見学と相談ができます。

かなテクカレッジ東部

(東部総合職業技術校)

TEL 045-504-2810

横浜市鶴見区寛政町 28-2



東部校



で検索

かなテクカレッジ西部

(西部総合職業技術校)

TEL 0463-80-3002

秦野市桜町 2-1-3



西部校



で検索